

作業の前に必ずお読みください

部品交換・調整についてはお客様ご自身の責任のもと行ってください。
部品交換・調整に伴う事故や破損については、当社は一切の責任を負いかねます。
部品交換・調整手順が不明の場合は、パーツセンターホクセイまでお問い合わせください ☎ 077-621-0821

作業にあたって

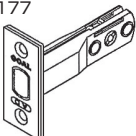
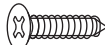

部品を正しく交換していただくために、本説明書の内容をご理解いただき作業を行ってください。
部品取り付け用ねじを最後まで正しくしめつけてください。(不具合の原因となりますので、電動工具は使用しないでください。)
安全のため、安全上の注意事項にしたがって作業を行ってください。

安全上の注意事項

お願い



強風や大雨など悪天候時は、ドアが急に閉じる危険がありますので作業は行わないでください。
取りはずしや仮置きの際、傷をつけないよう床や部品をダンボール等で保護してください。
素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。
ドアを開けた状態で、必ずドアをストッパー等で固定して作業をお願いいたします。

同梱されているもの

補助錠ケース	取付ねじ	交換要領書
HH-J-0177  1 個	 補助錠ケース本体 取り付け用：2 本	 1 枚

※部品が全てそろっていることを確認してください。

作業のために準備していただくもの

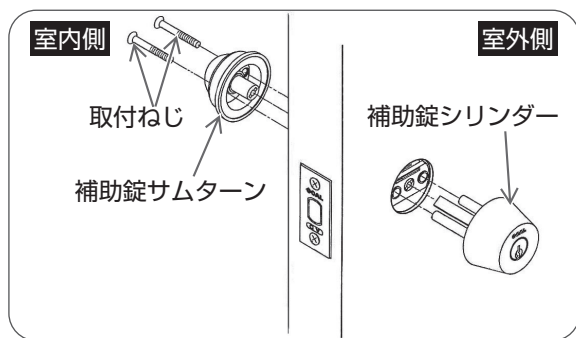
プラスドライバー
  1 本

部品の取りはずし方

お願い

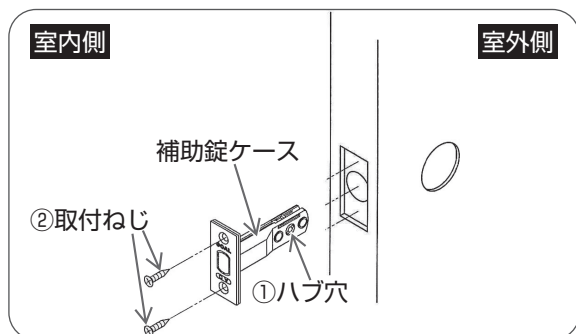
素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。
ドアを開けた状態で、必ずドアをストッパー等で固定して作業をお願いいたします。

1 補助錠シリンダー・サムターンの取りはずし



室内側よりプラスドライバーでサムターンの取付ねじをはずしサムターンおよびシリンダーをはずす。
※取付ねじを取りはずすとシリンダーがはずれます。落下にご注意ください。
※取りはずしたシリンダー・サムターンおよび取付ねじは、取り付けの際使用しますので、なくさないでください。

2 補助錠ケースの取りはずし



①解錠状態で室外側から見た錠ケースのハブ穴の向きを確認する。
※取りはずす前に室外側から見たハブ穴の向きを確認して下表に印を付けてください。

左上がり



右上がり



②プラスドライバーで錠ケースの取付ねじをはずし、錠ケースをはずす。

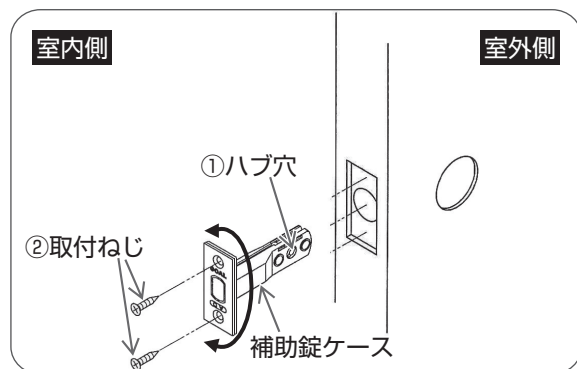
※部品の取り付け方は2ページをご覧ください。

部品の取り付け方

お願い

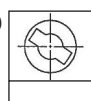
素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。
ドアを開けた状態で、必ずドアをストッパー等で固定して作業をお願いいたします。

1 補助錠ケースの取り付け

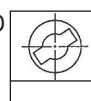


- ① 室外側から見たハブ穴の向きが取りはずす前と同じになるようにして錠ケースを取付穴に差し込む。
※1ページの表を参照してハブ穴の向きを合わせてください。

左上がり

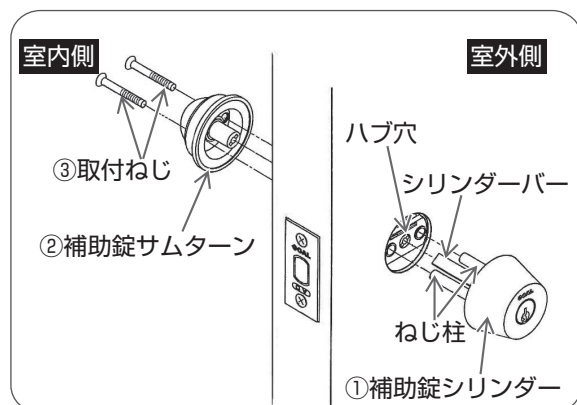


右上がり



- ② プラスドライバーで錠ケースの取付ねじをしめる。

2 補助錠シリンダー・サムターンの取り付け



- ① 室外側よりシリンダーのシリンダーバーおよびねじ柱を錠ケースの取付穴に差し込む。
※シリンダーの GOAL マークが上になるように差し込んでください。



- ※シリンダーバーの向きを錠ケースのハブ穴の向きに合わせて差し込んでください。
- ② 室内側よりサムターンをシリンダーバーとサムターンツマミの向きを合わせて差し込む。
- ③ プラスドライバーで取付ねじを仮止めし、サムターンツマミを数回作動させ、動きのよい所でしめる。

部品の交換後のチェック



- ① 部品にガタつきがないことを確認してください。
- ② 取付ねじの締めつけすぎで部品が変形していないことを確認してください。
- ③ 錠にカギを差し込み、施解錠ができることを確認してください。
- ④ サムターンをまわし、施解錠ができることを確認してください。
- ⑤ 取付ねじを強くしめると、施解錠が固くなる場合がありますので、その場合は取付ねじの締めつけを調整してください。

※部品の取りはずし方は1ページをご覧ください。